

ゼオマット TP

施工マニュアル

ゼオン化成株式会社
建築材料部

(1) 乾式浮床システム

- ① ゼオマットを床スラブに敷き込みます。通常乾式浮床の場合、ゼオマットは1層で充分です。
- ② 床仕上げ高さまで、壁に添ってゼオマットをカットしたものを立ち上げます。この時ゼオマットが倒れないように、壁に所々テーピングします。
- ③ ゼオマットの上に重い遮音シートを使用して、およそ3～5cmの重ねしろを取って下さい。
- ④ 目的・要求性能に合わせ、合板や木片セメント板をその上に何層か積層して下地施工は終了です。
- ⑤ 仕上げフロアを施工する前に、壁廻りからはみ出したゼオマットをカッターでカットします。
- ⑥ 最後に、がたつきを確認した上でフロアを施工します。壁廻りのゼオマットの隙間部分は上から巾木等で目隠し後、コーキングパテ処理をする事によって「ほこりだまり」を防ぎます。

(2) 湿式浮床システム

- ① ゼオマットを床スラブに千鳥で2層に敷き込んで下さい。
- ② 床仕上げ高さまで、壁に添ってゼオマットをカットしたものを立ち上げます。この時ゼオマットが倒れないように、壁に所々テーピングします。
- ③ ゼオマットの巻きグセをならすため重い遮音シートを使用し、10cm程度の重ねしろを取った上で、打設したコンクリートの水分が下地に洩れないように所々テーピングをします。
- ④ 敷き込んだ遮音シートの上からコンクリートを打設しますが、クラック防止の為必ず、ワイヤーメッシュを併用して下さい。
- ⑤ コンクリートを打設して終了です。